

事務事業名	甲西図書館運営事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12458				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	市立図書館	課長名	滝沢 美保				
			所属担当	甲西図書館	担当者名	小田切 由美子				
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 10	項 04	目 04	細目 060	細々目 05
政策	22	生涯学習ネットワークの整備充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	35	生涯学習システムの推進								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度)		法令根拠	図書館法 南アルプス市立図書館条例						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 図書館業務の円滑な運営に努め、市民の読書活動や学習活動を高める ・資料の貸出・返却・予約・リクエスト・相互貸借 ・レファレンスサービス(調査相談) ・AVブース利用・PC利用・学習室利用 ・館内の掲示・案内・壁面飾り ・職員の勤務体制及び研修への参加体制		事業費の主な内訳 (26年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 消耗品費 221 燃料費 29 通信運搬費 36 手数料 5 リーズ料 125 計 416							

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	26年度活動内容 開館日数 281日 資料貸出数 56,448点 27年度活動予定 開館日数 285日 資料貸出数 58,141点	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 開館日数 日数 イ 資料貸出数 点数 ウ
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 図書館利用登録者数(自館) 人数 イ ウ
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	図書館が暮らしに役立つことを理解し、インターネットの利用件数、レファレンス件数、予約数が増える。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 館内インターネット利用件数 件数 イ レファレンス件数 件数 ウ 資料予約件数 件数
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	図書館利用者の拡大	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 新規図書館利用登録者数 人数 イ

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
事業費	内訳	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	402	337	416	430	430	430	
		事業費計(A)	千円	402	337	416	430	430	430	0
人件費	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	868	868	1,042	1,042	868	868	
		人件費計(B)	千円	3,950	3,950	4,742	4,742	3,950	3,950	0
		(A)+(B)	千円	4,352	4,287	5,158	5,172	4,380	4,380	0
活動指標	ア	日数		286.0	284.0	281.0	285.0	285.0	285.0	
	イ	点数		53,904.0	54,804.0	56,448.0	58,141.0	59,885.0	61,681.0	
対象指標	ア	人数		1,670.0	1,767.0	1,820.0	1,874.0	1,930.0	1,987.0	
	イ									
成果指標	ア	件数		335.0	164.0	168.0	173.0	178.0	183.0	
	イ	件数		130.0	133.0	136.0	140.0	144.0	148.0	
	ウ	件数		2,162.0	1,452.0	1,495.0	1,540.0	1,586.0	1,633.0	
上位成果指標	ア	人数		106.0	109.0	112.0	115.0	118.0	121.0	

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成15年の合併に伴う甲西支所の空きスペースを、平成17年7月23日に市立甲西図書館としてリニューアルオープンし運営を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	オープン前の平成16年の資料利用冊数は16,493冊、平成23年度の資料利用冊数は54,755冊である。このことからわかるように図書館資料利用冊数が年々増え3倍以上になった。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	図書等予約をすることで、中央館の権限をはじめ各地域館の蔵書を利用できることを市民は喜んでいる。また、インターネット予約サービスやメール連絡サービスが便利だとの声が寄せられている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	自館にない資料等の市内・外、県外図書館の相互貸借サービスやレファレンスサービス(調査相談)、館内の掲示・案内・壁面飾りの充実に取り組んできた。各賞を受賞した作品紹介のポスターを制作し、本と一緒に展示して、利用者へアピールした。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	映画やドラマなどの原作となった作品紹介のポスターを制作し、本と一緒に展示して、利用者へアピールした。また毎月の行事や季節に合わせたコーナーを特設して資料を展示し、利用の促進を図った。

事務事業名	甲西図書館運営事業	所属部	教育委員会	所属課	市立図書館
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 市民の生涯学習に役立つ様々なサービスを行い、読書活動や学習活動に貢献している。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 図書館は、地域住民のために資料や情報の提供等直接的援助を行う機関であり、社会教育的施設であるため、市での運営は妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 地域住民に密着した地域の図書館として、市民サービスをおこなっていくためには妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 事業への市民の理解を得るためには、広報活動をこれまで以上に拡大し、PRしていかなければならない。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 各地域に図書館があることで、市民が格差なく図書館サービスを提供することができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 市民の地域格差なく読書活動や学習活動を高める生涯学習として支援する場なくなる。市民の知る権利・学ぶ権利を休止・廃止することはできない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 図書館全体で運営にかかわる事務を見直し、効率化することによって、ある程度の事業費の削減を図ることはできる。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 平日は正職員1人、常勤臨時職員2人の3人体制で運営してきた。利用者の増加にともない、H23年度から土日の2人体制を2.5人体制にするため、パート人件費を増やした。これ以上の削減はできない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 住民の身近な生涯学習事業への理解を得るためには、広報・事業内容の充実をしていく必要がある。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・窓口センター入り口の図書館お知らせ版に、「受賞作者」を張り出す。 ・話題になっている本の紹介をする ・季節感のあるコーナーを作る など意欲的に、図書館をPRした。今後も継続して市民が知りたい情報を的確に出し指示される運営を継続する事が望ましい。
② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
① レファレンス業務のPRをはかり、市民の抱えている課題解決を支援を拡充する。 ② 予約サービスやインターネットサービスなどをさらに周知し、図書館利用の促進を図る。 ③ 運営事務の効率化を図る。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
① レファレンス業務の充実のための職員のスキルアップを図ると同時に、市民への周知を拡大する。 ② 予約サービスやインターネットサービスなどについて、あらゆる方法でPRし、利用者の図書館利用の促進を図る。 ③ 各館ごとにおこなっている運営にかかわる事務を一本化することにより、図書館全体で効率化を図る。	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑧	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑧																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					